Ｊ－１　農業用揚水機場

所 在 地	新潟県長岡市
事業主体	新潟県
構　　造	木造平屋建て
延床面積	117m2
竣工年月	平成27年３月

木材利用量	22.9m3
うち県産材	15.2m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	㈱ナルサワコンサルタント
施　　工	平野建設㈱

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の上岩田地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として建設を行った。

県産スギ材を主体とする地域材を構造材及び仕上げ材に利用し、地域の景観になじむ、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆工法等の特徴

特殊なトラス構造形式は避け、地域の施工業者が習熟している木造在来軸組構法とした。県産スギ材の一般流通材を主体とし、大断面の梁部分には集成材を採用している。

◆整備にあたり工夫したこと

地域産材を活用した木造建築である事をアピールしつつ、地域の農村景観に配慮した外観とするため、外壁（下見板、押縁）の色味については地域住民の意向を伺い決定した。

◆利用者（施設管理者）の声

「地域の風景になじんでいる、木の外壁は将来的な維持管理も自分たちで塗装などできることから愛着が沸いてきます。」

Ｊ－２　農業用揚水機場

所 在 地	新潟県燕市
事業主体	新潟県
構　　造	木造平屋建て
延床面積	44.72m2
竣工年月	平成27年４月

木材利用量	11.8m3
うち県産材	11.2m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	相互技術㈱一級建築士事務所
施　　工	㈱山内組

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の小中川地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として建設を行った。

県産スギ材を主体とする地域材を構造材及び仕上げ材に利用し、地域の景観になじむ、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆工法等の特徴

特殊なトラス構造形式は避け、地域の施工業者が習熟している木造在来軸組構法とした。県産スギ材の一般流通材を主体とし、大断面の梁部分には集成材を採用している。

◆整備にあたり工夫したこと

地域産材を活用した木造建築である事をアピールしつつ、隣接する集落との景観に配慮した外観とするため、外壁（下見板、押縁）の色味については地域住民の意向を伺い決定した。

◆利用者（施設管理者）の声

「集落の雰囲気になじんでいる、木の外壁は将来的な維持管理も自分たちで塗装などできることから愛着が沸いてきます。」

Ｊ－３　米納津佐渡山１揚水機場

所 在 地	新潟県燕市米納津
事業主体	新潟県
構　　造	木造平屋建て
延床面積	56m2
竣工年月	令和２年８月

木材利用量	14.5m3
うち県産材	12m3
使用樹種	県産スギ等
施　　工	大河津建設㈱

揚水機場全景

県産スギ材を利用した梁や天井部

◆施設の概要

　経営体育成基盤整備事業の米納津佐渡山（よのうづさどやま）地区における農業用水の供給を支える揚水機場であり、地域景観との調和に配慮し、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた地域づくりを進めるため、県産木材を使用した施設として整備を行った。

◆県産材・県産品利用について

　施設の構造は地域の施工業者が習熟している木造在来軸組構法とし、構造材に県産スギ材を主体に使用するほか、天井大断面の梁部分では集成材を採用した。

◆整備にあたり工夫したこと

　揚水機場天井部が吹き抜け構造となっており、操作員に対して機場空間が広く感じられるとともに、目視で木のぬくもりが感じられるように配慮した。

Ｊ－４　馬堀地区第２号揚水機場

所 在 地	新潟県新潟市西蒲区馬堀
事業主体	新潟県
構　　造	木造１階建て
延床面積	55m2
竣工年月	令和６年２月

木材利用量	11.0m3
うち県産材	8.0m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	経営体育成基盤整備事業
設　　計	相互技術㈱一級建築士事務所
施　　工	㈱吉田建設

外観

木造現しの構造・内装

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の馬堀地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として設計を行った。県産スギ材を主体とする地域材を構造材及び仕上げ材に利用し、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

構造材等に使用する木材の多くを県産スギとし、木目の風合いを活かした親しみのある内装にするとともに、破風板や母屋についても県産スギ材の現しとすることで、周囲の景観との調和に配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

新潟らしい農業農村整備施設となるよう、揚水機場の木造化については管理予定者や地元住民と合意形成を図りながら決定した。

Ｊ－５　松橋地区揚水機場

所 在 地	新潟県燕市松橋
事業主体	新潟県
構　　造	木造１階建て
延床面積	60m2
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	7.8m3
うち県産材	7.8m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	経営体育成基盤整備事業
設　　計	太陽設計㈱一級建築士事務所
施　　工	㈱堤組

外観

木造現しの構造

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の松橋地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として設計を行った。県産スギ材を主体とする地域材を構造材に利用し、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁の構造材等に使用する木材の多くを県産スギとし、破風板についても県産スギ材の現しとすることで、周囲の景観との調和に配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

新潟らしい農業農村整備施設となるよう、揚水機場の木造化については管理予定者や地元住民と合意形成を図りながら決定した。

Ｊ－６　富永吉栄地区第２号揚水機場

所 在 地	新潟県燕市吉田
事業主体	新潟県
構　　造	木造１階建て
延床面積	60m2
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	9.4m3
うち県産材	9.4m3
使用樹種	県産スギ等
活用事業	経営体育成基盤整備事業
設　　計	相互技術㈱一級建築士事務所
施　　工	春木建設㈱

外観

構造材への木材利用状況

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の富永吉栄地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として設計を行った。県産スギ材を主体とする地域材を構造材に利用し、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁の構造材等に使用する木材の多くを県産スギとし、破風板についても県産スギ材の現しとすることで周囲の景観との調和に配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

新潟らしい農業農村整備施設となるよう、揚水機場の木造化については管理予定者や地元住民と合意形成を図りながら決定した。

Ｊ－７　針ヶ曽根2期地区第２号揚水機場

所 在 地	新潟県新潟市西蒲区馬堀
事業主体	新潟県
構　　造	木造１階建て
延床面積	50㎡
竣工年月	令和８年５月

木材利用量	13.0㎥
うち県産材	9.0㎥
使用樹種	県産スギ等
活用事業	経営体育成基盤整備事業
設　　計	㈱新栄技術一級建築士事務所
施　　工	水庄建設㈱

外観

木造現しの構造・内装

◆施設の概要

経営体育成基盤整備事業の針ヶ曽根2期地区における農業用水供給のための揚水機場であり、環境との調和を図り、農村特有の緑豊かで潤いと安らぎに満ちた村づくりを進めるため、県産木材を使った施設として設計を行った。県産スギ材を主体とする地域材を構造材及び仕上げ材に利用し、木のぬくもりと暖かさのある施設となっている。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁の構造材等に使用する木材の多くを県産スギとし、木目の風合いを活かした親しみのある内装にするとともに、破風板や母屋についても県産スギ材の現しとすることで、周囲の景観との調和に配慮した。

◆整備にあたり工夫したこと

新潟らしい農業農村整備施設となるよう、揚水機場の木造化及び外観・機能性等について、管理予定者や地元住民と合意形成を図りながら決定した。

K－1　佐渡市営吉井住宅

所 在 地	新潟県佐渡市吉井
事業主体	佐渡市
構　　造	木造
延床面積	264.98m2
竣工年度	平成26年度

木材利用量	54.48m3
うち県産材	46.81m3
使用樹種	佐渡市産スギ
設　　計	太陽設計㈱
施　　工	中野建設工業・伊藤建設経常共同企業体

◆施設の概要
　市営吉井住宅は、平成22年度から26年度の5カ年で整備している。

◆施設の特徴
　全木材量の約90%が佐渡産材を使用し、今後の地元材活用の事例として、よりいっそう推進していくこととする。

Ｋ－２　早通南住宅19号棟

所 在 地	新潟県新潟市北区早通南
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） ５階建て22戸
延床面積	1,921m2
竣工年度	平成29年度

木材利用量	17.4m3
うち県産材	16.6m3
使用樹種	県産スギ、集成材
設　　計	新潟県建築設計協同組合
施　　工	㈱加賀田組新潟支店

◆施設の概要

昭和48年建設の早通南住宅19号棟について、耐震性能の向上などを目的とし、耐震改修や長寿命化改修にあわせ、家族世帯など多様なニーズに対応すべく間取り改修を含めた住戸改善工事を行ったものである。

◆工法等の特徴

既存改修工事であることで木材使用には各種制約があるなか、造作材はもとより下地構成部材にも適材適所に配慮し県産材の活用を図った。

◆整備にあたり工夫したこと

県産杉材の特徴を考慮し、自然素材である杉材の表情を活かすよう表面塗装材を使い分け、少しでも木質感を感じられるよう配慮した。

◆利用者の声

「室内が明るく、木のぬくもりが感じられ、落ち着ける。」との声が寄せられている。

Ｋ－３　糸魚川市駅北復興住宅

所 在 地	新潟県糸魚川市本町
事業主体	糸魚川市
構　　造	木造３階建て
延床面積	1396.2m2
竣工年月	平成31年３月

木材利用量	352m3
うち県産材	213m3
使用樹種	県産スギ
活用事業	社会資本整備総合交付金、 越後のふるさと木づかい事業
設　　計	㈱スタジオ・クハラ・ヤギ
施　　工	猪又・カネタ・後藤特定共同企業体

◆施設の概要

平成２８年１２月２２日に起きた糸魚川駅北大火の被災エリアに、自力再建が困難な方々のために整備された復興市営住宅（全１８戸）

２棟構成の3階建木造準耐火構造となっており、1階には訪問診療所と交流スペースが設置されており、地域住民のためのサポート拠点、交流拠点としての機能も併設されている。

◆工法等の特徴

廊下や庇の床に厚板集成パネルを採用している。集成材のラミナに糸魚川産杉を使用（県内の集成材工場で製作）しており、通し柱には県産杉集成材、強度が必要な梁・桁についても県産杉とベイマツのハイブリッド集成材を採用するなど、可能な限り県産材を利用できるよう工夫を行った。 また、県産材を活用した木造建築である事をよりアピールできるように、景観に配慮した伝統的な木造建築の外観とした。

◆整備にあたり工夫したこと

大火被災者のための公営住宅であり、高齢者も多いことから、見守り機能の強化とコミュニケーション促進のため、隣棟間距離の近い中庭を設計し、中庭周りの各所に木材を散りばめて設置している。

◆利用者の声

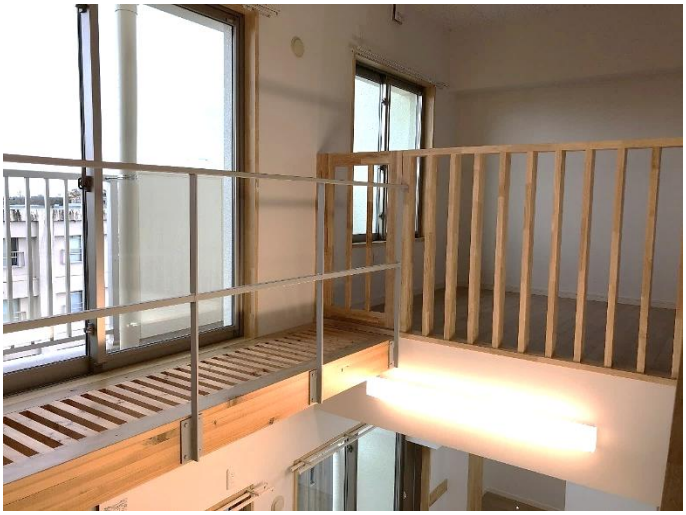
「明るく木のぬくもりが感じられ、落ち着ける」、「この建物ができたことでこの地区が明るくなった。」と好評である。

Ｋ－４　寿町住宅Ａ号棟

所 在 地	新潟県長岡市寿２丁目200番１
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） ５階建て24戸
延床面積	1,893m2
竣工年月	令和２年11月

木材利用量	17.7m3
うち県産材	17.4m3
使用樹種	県産スギ等
施　　工	ダイエープロビス㈱

県産材等集成材（建具枠など）を使用した住戸廊下



県産材等（手摺りなど）を使用した手摺り・
住戸多目的スペース

◆施設の概要

昭和48年建設の寿町住宅A号棟について、居住性の向上や高齢者への対応を目的に、共用廊下の増築、エレベーターの設置を行った。また、世帯構成の変化に対応するため、間取り改修を含めた住戸改善工事を行い、あわせて耐震性の向上を図った。

◆県産材・県産品利用について

内装工事において、下地構成材の他、造作材の一部に使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

木質感を失わないよう、自然素材の表情を活かす塗装材を用いた。

Ｋ－５　五泉市営南本町住宅

所 在 地	新潟県五泉市南本町
事業主体	五泉市
構　　造	木造平屋、２階建て
延床面積	715m2
竣工年月	令和３年３月

木材利用量	135.2m3
うち県産材	125.5m3
使用樹種	五泉市産スギ等
施　　工	横山建設㈱

市営南本町住宅の外観

五泉市産スギ材を使用した柱

◆施設の概要

市営南本町住宅は令和2年度から令和3年度にかけて2か年で整備を進めている。バリアフリーに配慮し段差を少なくした作りで高齢者も利用しやすい平屋1棟と、子育て世帯を対象とした2階建て1棟を令和2年度に建設した。令和3年度に3棟（平屋1棟、2階建て2棟）を建設する予定となっている。

◆県産材・県産品利用について

地域の施工業者が習熟している木造軸組構法を用い、地元五泉市産スギ材をより多く活用できるように柱や梁などに使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

森林資源の循環利用を推進するため、全木材利用量の9割以上に五泉市産スギ材を有効的に活用し、地域の林業・木材産業の振興、快適な生活環境の確保などを図った。

Ｋ－６　佐渡市営井内住宅Ｂ・Ｃ棟

所 在 地	新潟県佐渡市上新穂
事業主体	佐渡市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	404m2
竣工年月	令和３年３月

木材利用量	85.7m3
うち県産材	70.6m3
使用樹種	佐渡市産スギ等
施　　工	㈱中村工業

井内住宅B･C棟外観

佐渡産スギを使用した構造部材

◆施設の概要

市営井内住宅は、耐用年数を経過し、老朽化が著しい4つの団地を集約し、平成30年度から令和3年度の4か年で建替え整備している。

◆県産材･県産品利用について

土台を除く、柱、梁等、構造材について佐渡産スギとし、地元の気候風土にあった木材を多く利用している。

◆整備にあたり工夫したこと

構造材のほぼ全てを佐渡産スギブランド認証材とし、木材の乾燥基準･強度性能等の認証基準を満たした製品を使用することで、住宅品質の確保に努めている。

Ｋ－７	南新町住宅Ｃ号棟

所 在 地	新潟県上越市南新町４-３
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造） ５階建て23戸
延床面積	1,687m2
竣工年月	令和３年12月

木材利用量	21.5m3
うち県産材	18.1m3（内装）
使用樹種	村上市産スギ等
施　　工	大栄建設㈱

県産材集成材（見切り枠など）を使用した
メゾネット型住戸居間、階段

県産材集成材（建具枠など）を使用した
住戸廊下

◆施設の概要

昭和48年建設の南新町住宅C号棟について、居住性の向上や高齢者への対応を目的に、共用廊下の増築、エレベーターの設置を行った。また、世帯構成の変化に対応するため、間取り改修を含めた住戸改善工事を行い、あわせて耐震性の向上を図った。

◆県産材・県産品利用について

内装工事において、下地構成材の他、造作材の一部に使用した。

◆整備にあたり工夫したこと

室温環境の影響を受けにくい県産材による集成材を使用し、質感については木質感を失わないよう、自然素材の表情を活かす塗装材を用いた。

Ｋ－８　佐渡市営井内住宅Ｄ棟

所 在 地	新潟県佐渡市上新穂
事業主体	佐渡市
構　　造	木造２階建て
延床面積	484.8m2
竣工年月	令和４年３月

木材利用量	92m3
うち県産材	83m3（構造）
使用樹種	佐渡市産スギ
施　　工	㈱中村工業

井内住宅D棟外観

佐渡産杉ブランド材の活用

◆施設の概要

市営井内住宅は、耐用年数を経過し、老朽化が著しい4つの団地を集約し、平成30年度から令和3年度の4か年で建替え整備を行った。最終となる令和3年度は、ファミリー世帯用の木造2階建て1棟（8戸）の建設及び駐車場整備を実施した。

◆県産材・県産品利用について

土台を除く、柱、梁等、構造材については佐渡杉ブランド材、その他の板材は佐渡産杉材とし、木材の利用促進と島内での消費拡大に取り組んでいる。

◆整備にあたり工夫したこと

地場産木材を利用することでウッドショックの影響を極力回避し、工程のカギを握る構造材の調達に関して計画的に実施できた。また、その他の板材については島内で加工することにより、プレカット加工にかかる島外運搬コストの縮減を図った。今後も不安定な経済動向が予測されると共に、環境負荷の低減が求められる社会状況において、積極的な地域資源の活用は意義深い。

Ｌ－１　道の駅越後出雲崎「天領の里」トイレ

所 在 地	新潟県出雲崎町大字尼瀬
事業主体	出雲崎町
構　　造	木造平屋建て
延床面積	85.04m2
竣工年月	平成26年８月

木材利用量	13.32m3
うち県産材	11.78m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、米マツ
活用事業	Ｈ25 森林整備加速化・林業再生事業
設　　計	㈱ワシヅ設計
施　　工	㈱岡田トラスト総業

◆工法等の特徴

RC腰壁に土台を敷いた在来軸組構法を採用し、県産スギ一般材を多用している。

天井は垂木を化粧として、垂木間の仕上げはケイカル板EPで仕上げ、押し縁天井としている。天井を張らないことで木軸組みを現し天井の高い空間とし、暑気、臭気等に対応。

◆整備にあたり工夫したこと

文化観光交流館（天領の里、物産館）、記念碑等の隣に位置すること、厳冬環境等を考慮し外観デザインには非常に苦労した。

腰壁は既存建物に合わせてなまこ壁、外壁は出雲崎の町家で多く見られる押し縁下見板とすることで周辺景観にあった外観としている。

◆利用者の声

「天井に木が見えて、地元の木材を使用していることがパンフレットを見てわかった。」

「近隣の妻入りの街並みとマッチしていて良いと思う。」などの声が寄せられている。

Ｌ－２　島見緑地わんぱく広場多目的トイレ

所 在 地	新潟県新潟市北区島見町
事業主体	新潟県
構　　造	鉄筋コンクリート造一部木造
延床面積	44.8m2（うち増築部7.2m2）
竣工年月	平成30年２月

木材利用量	8.9m3
うち県産材	5.4m3
使用樹種	県産スギ、米マツ
設　　計	㈲丸山建築設計事務所
施　　工	新潟プレハブ工業㈱

◆施設の概要

県立島見緑地は、新潟市北区に位置し、東港工業地帯の緩衝緑地として平成5年に整備された公園である。広大な公園は4つのエリアに分かれており、子どもたちが利用する「わんぱく広場」にある既存の公衆便所に、多目的トイレを平成29年度に増築した。

◆工法等の特徴

多目的トイレの構造は、鉄筋コンクリート造と木造の混構造となっており、壁の一部と小屋組を木造としている。また、既存棟の公園側外観が杉板仕上げとなっており、既存棟と調和を図るため、多目的トイレの外観（東西面）を同様の杉板仕上げとした。

◆整備にあたり工夫したこと

県立島見緑地の中でも、子どもたちが利用するエリアに設置されている公衆便所であることから、増築した多目的トイレは、既存棟の外観デザインと調和を図りつつ、施設利用者が木のぬくもりを感じ、親しみが持てるよう、内部は小屋組を現しとし、外部の一部を杉板仕上げとした。

Ｌ－３　苗場グリーンランド

所 在 地	新潟県湯沢町大字三国
事業主体	苗場高原観光事業協同組合
構　　造	木造平屋建て
延床面積	53m2
竣工年月	平成30年11月

木材利用量	9.2m3
うち県産材	5.7m3
使用樹種	県産スギ、国産ヒノキ、米マツ
設　　計	㈱キチ＆アソシエイツ
施　　工	㈱キチ＆アソシエイツ

◆施設の概要

1986年にオープン以来、三国地区の夏季合宿やFuji Rock Festivalの会場等に利用頂いてる「苗場グリーンランド」。

2018年に人工芝グランド2面の改修工事を皮切りに、施設全体を見直し、整備の一環としてトイレ、ウッドデッキを制作した。

◆工法等の特徴・工夫

躯体の形状を正方形の四角錐屋根とし、大自然に呼応するようなデザインを心がけた。

意図的に外部から県産材を使った木部を見せないことで中に入った瞬間のギャップに驚き、見た人の記憶に残るよう印象をコントロール。四角錐の構造体が美しく見えるように部材断面も統一し、照明器具も直付けせず配置を工夫することにより夜間もライトアップされ、昼間とは違った美しさを放っている。

◆整備によることの効果

苗場グリーンランドサッカーの合宿（年間平均宿泊者数4，000人）

野外音楽イベント利用者（10，000人）

毎年フジロックフェスティバルの来場者（125，000人）や苗場高原に森林浴で多くの人が訪れ、広く県産材の宣伝効果がある。

◆利用者の声

「木のぬくもりが感じられ、落ち着ける」と好評である。

Ｌ－４　道の駅関川　トイレ棟

所 在 地	関川村大字上関1260-4
事業主体	関川村
構　　造	木造平屋建て
延床面積	68m2
竣工年月	令和４年１２月

木材利用量	15.5m3
うち県産材	11.2m3
使用樹種	県産スギ（いわふね杉）
活用事業	
設　　計	㈱小林設計
施　　工	㈱渡辺組

（全　景）

（トイレ棟出入口）

◆施設の概要

村の観光拠点である「道の駅関川」の周辺リニューアル工事に伴い、芝生広場の大型遊具の建設とともに、多くの訪客に配慮した「トイレ施設」を温かみのある木造で整備した。

◆県産材・県産品利用について

梁（米松）を除き、柱や側壁など可能な範囲の部材使用とし、全体の約70%を新潟県産スギ材（いわふね杉）を活用した。

◆整備にあたり工夫したこと

村の歴史、文化財に調和するような仕様の施設として、一種のトイレ棟にとどまらないような設計に配慮した。

Ｌ－５　若宮児童遊園トイレ

所 在 地	新潟県長岡市関原町
事業主体	長岡市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	4㎡
竣工年月	令和７年３月

木材利用量	2.6㎥
うち県産材	2.6㎥
使用樹種	県産スギ等
設　　計	長岡市都市施設整備課
施　　工	(有)小室建設

外観

内観

◆施設の概要
　児童遊園利用者のためのトイレ

◆県産材・県産品利用について
　柱、梁の構造材や天井、内壁、外壁、など使用する木材の全てを県産スギとし、木目の風合いを活かした趣きのある内装仕上げとするともに、外壁も県産スギとすることで周囲の景観と調和する外観とした。

◆整備にあたり工夫したこと
　木造によるコンパクトな施設整備の手法をモデルとして発信することで、民間事業者が独自に類似施設を整備する意欲を喚起・醸成する。

Ｌ－６　西公園公衆便所

所 在 地	新潟県五泉市土深
事業主体	五泉市
構　　造	木造平屋建て
延床面積	22.34㎡
竣工年月	令和7年度

木材利用量	6.19㎥
うち県産材	4.68㎥
使用樹種	五泉市産スギ等
活用事業	R7社会資本整備総合交付金 公園施設長寿命化対策支援事業
設　　計	㈲塚野設計
施　　工	山隆リコム㈱

外観

内観

◆施設の概要

野球場や遊具などを備え、子どもから大人まで幅広く利用されている西公園。以前の公衆便所が老朽化に伴い改築を行った。

◆県産材・県産品利用について

柱、梁、間柱、垂木などに県産材を使用するとともに、五泉市産スギ材を活用し、地産地消を図った。

◆整備にあたり工夫したこと

建物内は母屋を表しとした勾配天井とし、木材の温かみを感じられる明るく開放的な公衆便所となるよう工夫した。子どもたちにも利用しやすい、親しみのある施設となるよう配慮した。

M－１　村上駅前駐輪場

所 在 地	新潟県村上市田端町
事業主体	村上市
構　　造	木造
延床面積	147.2m2
竣工年度	平成28年度

木材利用量	28.5m3
うち県産材	28.5m3
使用樹種	村上市産スギ・ヒノキ
設　　計	デザインワークス空間舎
施　　工	㈱高建

◆施設の概要

従前の駐輪場には上屋がなかったことから、地元産木材を使用した木造瓦葺きの上屋が整備された。地域産木材を化粧材としてすべて見せており、木づかい建築コンペ2019では、「古い街並みへといざなう駅駐輪場」として大賞を受賞した。

◆工法等の特徴

村上市産の杉を使用し、伝統的な村上大工の技術で継手・仕口加工し、金物はアンカーボルト以外使用していない。

◆整備にあたり工夫したこと

駅前周辺の景観を考え、街並みのように軒を連ね高さを抑えつつ、軒先は圧迫感を軽減させる金属葺きとし軽やかにした。村上の町家を意識した暗褐色の木格子を設け、柱・梁・天井は白茶色として、明るく温かい雰囲気を持たせつつ、町家への呼応としての建築を考えた。

また、鬼瓦には村上市の市章が使用されており、細部にもこだわっている。

◆利用者の声

学生をはじめ、多くの方に利用されている。

M－２　小出高等学校自転車置場

所 在 地	新潟県魚沼市青島
事業主体	新潟県
構　　造	木造
延床面積	93.8m2
竣工年度	平成30年度

木材利用量	15m3
うち県産材	15m3
使用樹種	県産スギ
設　　計	大栄産業㈱
施　　工	大栄産業㈱

◆施設の概要
生徒数465人の県立高等学校の自転車置場。
鉄骨造の既存自転車置場が老朽化していたため、木造で建て替えを行った。

◆工法等の特徴
自転車置場では、構造部材でふんだんに県産材を使用し、木目が隠れない保護塗料や自然素材の県産瓦を使用することで、景観等に配慮した造りとなっている。

◆整備にあたり工夫したこと
多くの生徒が利用する自転車置場を、県産材を現しとすることで、日頃から木のぬくもりを感じることができるよう整備した。